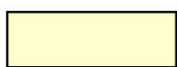


## 完了実績報告書 記入例

この記入例では、入力方法の種類ごとに色分けして説明しています。



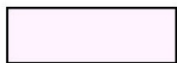
黄色は 補助事業者が入力する項目です



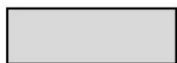
緑色は 自動で入力される項目です



青色は 建築士が入力する項目です



桃色は 手書きで記入する項目です



灰色は 事務局で使用する欄です

※この入力シートは提出の必要はありませんが、必ず確認・入力をしてください。入力をしないと他の様式類の計算が正しく表示されません。

<交付申請番号入力シート>（完了実績報告用）

- 1 交付申請番号と\*番号を入力してください。

交付申請番号と\*番号は、事業者ポータルサイト「令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業」の「完了実績報告書（様式1-1）」の「評価基準型」の場合は「1」が付番されています。この番号は完了実績報告書の上部に記載されています。

交付申請番号						管理番号		
年度	事業者番号				住宅番号	*	※支援室記入欄	
03	2	8	X	X	X	X	001	1

※ここに入力した交付申請番号と\*番号は各様式の上部に反映されます。

※完了実績報告後に、完了実績報告書（様式1-1）の誤記が判明した場合は、事

交付決定通知書に記載されている交付申請番号を転記してください。

※ここに入力がない場合、他の様式類の計算が正しく表示されません。

を再度ご提出していただきます。

交付申請番号や様式の記入事項に間違いがないか、もう一度確認してください。

- 2 「申請タイプ」「事業タイプ」を確認してください。

申請タイプ	通年申請タイプ
事業タイプ	評価基準型

※交付申請時と同じであることを確認してください。

異なっている場合は、「●1」で入力した交付申請番号を確認してください。

- 3 注意事項

必ず確認してください

- 提出書類に不足はありませんか。  
次のシート「提出書類チェックシート（完了実績報告用）」で確認してください。  
揃っていることを確認しましたら「チェック欄」に印を付け、完了実績報告書と一緒に提出してください。
- 作成した様式データの最終版は、必ず保存してください。

完了実績報告書（様式11）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

事業者ポータルサイトからダウンロードし印刷してください。  
 この記入例でセルが緑色になっている部分は自動入力されます。記載に変更がある場合は、支援室にご連絡ください。変更の手続きをご案内します。  
 変更の手続きが終わりましたら、印刷し直してください。

様式11

事業タイプ	交付申請番号										管理番号							
評価基準型	年度	事業者番号						住宅番号				*	※支援室記入欄					
	0	3	-	2	8	X	X	X	X	-	0	0	1	-	1	-		
*事業タイプを示す   記入しないでください													報告日					
													令和 3 年 11 月 30 日					
													↑ 提出日を記入してください。					

長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室 殿

令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業完了実績報告(兼、請求書)


令和 3 年 6 月 30 日 付け03長リ01第 0100-28XXXX-001 号 をもつ  
 標記事業が完了したので、平成30年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金交付  
 決定通知書、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

提出する年月日を油性の  
 ボールペンで記入してください

また、長期優良住宅化リフォーム推進事業実施支援室が、本報告書に基づき、交付  
 したときは、同規 年度長期優良住宅化リフォーム推進事業補助金  
 に係る国庫補助金

交付決定通知書右上の日付、番号  
 を記入してください

補助事業者

法人・個人事業主 等の名称	アガナ カブシキカイシャ			支店・ 事業所名	アガナ 〇〇支店		
代 表 者	氏名	アガナ 〇〇 〇〇		役職等	代表取締役		
	代表者印 (個人事業者の場合は実印)						
法人・団体等の 住 所	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇 △ビル〇F						
電 話 番 号	012-345-****		法人番号	123456789****			

交付申請する住宅の所在地等

住宅の所在地 (住居表示)	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇		
建 物 名 称	部 屋 番 号		

交付申請書に押印した印と  
 同じ印

工事発注者（共同事業者） ※補助事業者が買取再販業者の場合は記入不要です。

名 称 ・ 氏 名	アガナ ●● 〇〇		安心R住宅
	●● 〇〇		<input type="checkbox"/> 売主 <input type="checkbox"/> 買主
住 所	〒 123 - 4567 〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番		
建 物 名 称			

補助金の交付決定額及び精算額

補助金の交付決定額	1,500 千円
補助金の精算額	1,500 千円

「補助金の交付決定額」は交付決定通知書の  
 「交付決定額」、  
 「補助金の精算額」は変更がなければ  
 「交付決定額」を、変更があれば  
 「変更後の補助額」を記入してください

補助事業の実施期間

令和 3 年 6 月 1 日 ~ 令和 3 年 11 月 20 日  
 ↑ 事業者登録日以降の最初の契約日 ↑ 工事完了引き渡し日

事業者登録日以降の最初の契約日を始期に記入し、  
 工事完了引渡し日を終期に記入してください

補助事業の成果

別添書類のとおり

補助金の請求

請 求 額	交付すべき補助金の額として、支援室が確定した額とする。
振 込 先	事業者ポータルサイトに登録した振込口座とする。

- (注意事項)
- 修正液、訂正印での修正はできません。記載事項に誤りがある場合は、事業者登録システムの情報を修正し、再度印刷してください。
  - 記入、押印漏れ、提出書類の不足がある場合は、完了実績報告の受付は行いません。
  - 報告日の記入が漏れていた場合は、完了実績報告書の到着日を報告日として扱います。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

・ 交付申請時から一切の変更がない場合でも様式は提出してください。  
 ・ 交付申請時から変更がある場合は、支援室に連絡ください。手続き等をご案内します。

様式12

交付決定時から工事内容・工事費に変更がある場合はチェックをしてください

交付申請番号	年度	事業者番号				住宅番号			
	0 3	-	2 8	X X	X X	-	0 0	1	

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください。

### 完了実績報告概要書

● 共通

リフォーム工事の変更について(補助対象工事費(工事費、インスペクション等)を含まない追加契約等に基づく工事を除く)

<p><b>変更の有無</b> (何れかにチェック)</p>	<input type="checkbox"/> 交付決定時から変更が無い	→ 以下記入不要
	<input checked="" type="checkbox"/> 交付決定時から変更がある	→ 「変更する工事」「工事費の変更」「補助額の変更」の欄の該当する項目にチェックしてください。
<p><b>変更する工事</b> (該当するものにチェック)</p>	<input type="checkbox"/> 特定性能向上リフォーム工事に関するもの	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他性能向上リフォーム工事に関するもの	
	<input type="checkbox"/> 三世帯同居対応改修工事に関するもの	
	<input type="checkbox"/> 子育て世帯向け改修工事に関するもの	
	<input type="checkbox"/> 防災性の向上改修工事に関するもの	
	<input type="checkbox"/> バジリエンス性の向上改修工事に関するもの	
	<input type="checkbox"/> インスペクション等に関するもの	
<p><b>工事費の変更</b> (上記にチェックした場合、何れかにチェック)</p>	<input type="checkbox"/> 補助対象工事費の変更無し	→ 一面を添付
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助対象工事費の変更有り	→ 補助率:様式5、5の2、5の3、6、図面を添付 単価:様式8、8の2、8の3、9、図面を添付 変更の契約書、内訳書を添付
<p><b>変更する工事</b> (該当する場合にチェック)</p>	<input type="checkbox"/> 補助対象外工事に関するもの	→ 補助対象外工事費の変更無し
	<input type="checkbox"/> 補助対象外工事費の変更有り	→ 変更の契約書を添付 補助対象の契約に含む場合は様式6、9に反映
<p><b>補助額の変更</b> (何れかにチェック)</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 変更無し	
	<input type="checkbox"/> 減額の変更有り	

変更がある場合は項目ごとにいずれかをチェックしてください

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

様式13

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度	事業者番号				住宅番号			
	03	-	2	8	X	X	X	-	0	0

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください

### 建築士による工事内容確認書

様式11に記載の住宅の所在地と同じであることを確認してください

本報告に係る住宅リフォーム工事について、交付決定されたことを確認し、下記日付の現地確認においてチェックシート※及び様式14の工事写真の通り実施されていることを確認したことを証明します。

#### 証明する住宅

住宅の所在地 (住居表示)	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町●丁目△番地〇〇
建物名称	部屋番号

現地でリフォーム工事内容を確認した日を入力してください

#### 現地確認日

令和3年6月2日
----------

共同住宅の場合は、マンション名などの建物名称を入力してください

資格	(一級)建築士 (国土交通大臣)登録	第 〇〇〇〇〇〇 号	印
氏名	△△ □□		
建築士事務所	(一級)建築士事務所 (〇〇県)知事登録	第 ●-〇〇 号	
建築士事務所名	〇〇株式会社一級建築士事務所		
所在地	〇〇 都道府県 〇〇市〇〇区〇〇町▲丁目〇		

証明する建築士個人の印です。↓

建築士事務所の法人印ではなく建築士の個人印を押印してください

#### 証明する建築士が確認した変更の内容

何れかにチェック	<input type="checkbox"/> 交付決定から変更無し	<input checked="" type="checkbox"/> 交付決定から変更有り → 確認した変更の内容について以下に具体的に記載してください。
変更の内容	節水型トイレの機器変更 (変更前)AAAAA⇒(変更後)BBBB	

※チェックシート：事業タイプに応じた次の様式の「工事完了時建築士チェック欄」

事業タイプ	チェックシートの様式
評価基準型（単価積上方式）	様式8
評価基準型（補助率方式）	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4、様式8の3
認定長期優良住宅型（単価積上方式）	様式8の2
認定長期優良住宅型（補助率方式）	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4
高度省エネルギー型	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4
提案型（単価積上方式）	様式8
提案型（補助率方式）	様式5、様式5の2、様式5の3、様式5の4、様式8の3

#### (注意事項)

1. 建築士がリフォーム工事内容を確認し、本事業の工事内容の確認に要する場合は、建築士事務所として登録されている事務所に所属している必要があります。
2. 建築士が工事内容の確認を実施可能とする住宅は建築士法第3条から第3条の4に規定する資格ごとに設計・監理できる住宅とします。
3. 工事内容確認書を作成するにあたり、故意又は重大な過失による虚偽の記入・証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の2の規定の対象となります。

工事内容の確認で使用する様式です。交付申請時に作成した最終版の様式を使用してください

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

- ・共同住宅、長屋の一棟申請の場合、様式4の住棟番号を入力してください
- ・複数棟をまとめて1つの申請とする場合は、住棟ごとに作成してください

様式14の1

事業タイプ
評価基準型

交付申請番号	年度	事業者番号				住宅番号		
	03	-	28	X	X	X	X	-

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」に入力してください

### 対象住宅の全景写真

複数棟ある場合はこの様式を住棟毎に1枚作成してください。

住棟番号
------

完了後

撮影日
令和3年11月10日

工事完了後の撮影日を入力してください

※工事  
情報  
写真

## 対象住宅の全景写真

〇〇邸 完了後(全景)
R3.11.10

補助対象とした住宅の全景が確認できる写真としてください  
現場名、日付入の工事看板を入れて撮影してください

### 写真貼付け

※工事写真は、看板等により、現場名、撮影日が確認できる情報を写し込むこと。看板がないと工事写真として認めません。写真(看板を含む)を、改ざんしたものは虚偽申請となります。

- ・看板は記載内容が鮮明に確認できるものとする
- ・対象住宅の全景が分かる写真であること
- ・写真の縦・横の比率を変えないこと

#### ＜留意事項＞

1. 工事写真には必ず看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載してください。
2. 記入等は黄色いセルの部分のみとしてください。白いセルの部分は編集しないでください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

・工事写真は全箇所必ず撮影すること。ただし、同じ工事箇所が複数ある場合は、その内3箇所程度を選定し提出すること。  
 ・工事箇所の写真が1枚で入らない場合、1枚で特定できない場合は、様式を複数枚使用して作成すること。  
 ・リフォーム工事箇所毎に、リフォーム着手前、施工中、完了後の写真が必要です。  
 ・工事写真には看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載すること。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を撮影すること。

単価積上方式の場合は空欄として結構です。

事業タイプ 評価基準型	交付申請書	住棟番号
<b>リフォーム工事箇所の工事写真</b>		
この様式はリフォーム工事箇所毎に作成してください。		
工事箇所番号	リフォーム工事箇所・工事内容	同じ工事で様式が複数枚になるときの枚数
	1通り、い〜ろ間の軸組・筋交いの取付、金物取付	1 / 5
着手前		撮影日 令和3年6月10日
写真貼付け		
着手前の写真 (遠景)		・マニュアル「別表-10」の工事内容に応じた撮影時期の写真を貼り付けてください。 ・看板等により、現場名、撮影日が確認できる情報を写し込むこと ・リフォーム工事の現場名、撮影日、写真の縦横比
施工中の写真 (遠景)		・マニュアル「別表-10」の工事内容に応じた撮影時期の写真を貼り付けてください。 ・看板等により、現場名、撮影日が確認できる情報を写し込むこと ・リフォーム工事の内容等が確実に分かる写真であること ・写真の縦・横の比率を変えないこと
施工中の写真 (近景)		・現場名、日付入の工事看板を入れて撮影してください
完成後		撮影日 令和3年10月15日
工事完了後の写真 (遠景)		
工事完了後の写真 (近景)		

＜留意事項＞

1. 工事写真は全箇所必ず撮影してください。リフォーム工事箇所毎に、リフォーム工事前、工事中、施工後の写真が必要です。
2. 工事写真には必ず看板を入れ、看板には現場名、撮影日を記載してください。また、何の工事の写真か、どこを工事したか分かるように、遠景、近景を用いて撮影してください。
3. リフォーム工事を実施したことが確認できない場合は、補助金が交付できない、または減額となります。
4. 記入等は黄色いセルの部分のみとしてください。白いセルの部分は編集しないでください。

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

交付申請時に作成した最終版、変更に関する手続きを行った場合はその際に作成した最終版の様式を使用してください

様式8 1/24  
Ver.1

事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号							住宅番号			
評価基準型		0 3	-	2	8	X	X	X	X	-	0	0	1

リフォーム後の住宅性能に係る基準等の適合状況確認書及び単価積上方式による補助対象工事費の算出表

「評価基準への適合状況」欄の各チェック項目及び番号等は、令和3年度長期優良住宅化リフォーム推進事業 住宅性能に係る評価基準 に対応しています。

評価基準を参照し、該当する項目を必ず記入してください。評価基準型(単価積上方式)で申請する場合には、本様式を交付申請時に必ず提出し

印刷したときに、**入力した欄に見切れが無いが、必ず確認してください(全頁共通)**

- この確認書は、リフォーム後の住宅性能に係る評価基準等の適合状況確認書は、当該住宅について設計・工事監理ができる建築士免許を有する建築士が申請内容を確認のうえ作成してください。本適合状況確認書において、故意又は悪意による虚偽の証明、未確認での証明などの行為があったことが判明した場合には、建築士法第10条の規定に基づく懲戒処分の対象となることがあります。
- リフォーム前後における認定基準又は評価基準への可否を、「評価基準への適合状況」の該当する項目にチェック(■)し、判断に要した方法・資料等を「適合性確認に要した資料等(複数選択可)」欄(20/22)に記載してください。
- 補助対象工事費は、「リフォーム工事の種別」の「特定性能向上リフォーム工事(以下、「特定性能」)」や「その他性能向上リフォーム工事(以下、「その他性能」)」をチェック(■)し、「補助対象となる性能向上リフォーム工事」の「数量」を入力すると、補助対象工事費 記入欄の「特定性能向上工事」「その他性能向上工事」の欄に自動計算されます。
- 本様式(様式8)は交付申請時と完了実績報告時に提出します。確実に、交付申請時のデータを保存し、完了実績報告時に提出してください。なお、交付申請時は「工事完了時建築士チェック欄」は未記入としてください。

1. 構造躯体等の劣化対策 (構造別)	住宅性能等 記入欄 (建築士による確認)						補助対象工事費 (自動計算)			工事完了時建築士チェック欄
	必須項目						補助工事単価	特定性能計	その他性能計	
	評価基準への適合状況			補助対象となる性能向上リフォーム工事						
・特記の無い場合、「適用する評価基準」にはリフォーム前の状況を記入してください。 ・「評価基準への適合状況」の「リフォーム前の性能」は、該当する評価基準すべてについてチェック(■)を入れてください。	リフォーム前の性能 リフォーム後の性能 リフォーム工事の種別	工事内容 数量	単位	特定性能向上工事 2,482,890 特定性能向上工事	その他性能向上工事 0 その他性能向上工事	単位	特定性能向上工事 2,482,890 特定性能向上工事	その他性能向上工事 0 その他性能向上工事		
<b>【木造】 適用する評価基準</b> a~jの全てに適合	a 外壁の軸組等 柱、その他部材について、外壁の軸組等のうち地面からの高さ1m以内の部分が次の(1)~(6)のいずれかに適合 (1) 外壁通気構造等 (2) 軸組等が防蟻・防蟻処理されている (3) 柱の小径 ( ) cm ≥ 12.0cm (4) 樹種(D1) ( ) (5) (1)~(4)と同等の措置 具体的な内容 ( ) (6) 維持保全の強化★を実施する場合、以下の範囲で防蟻・防蟻処理を今回実施 ・床下空間に露出している部分 ・増築又は改築の工事で露出する部分 増改築認定基準の場合は以下も含む ・K3相当以上の防蟻・防蟻処理	柱 <input type="checkbox"/> (1) <input type="checkbox"/> (1) <input checked="" type="checkbox"/> 特定性能 <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> その他性能 <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> (3) <input type="checkbox"/> 補助対象外 <input type="checkbox"/> (4) <input type="checkbox"/> (4) <input type="checkbox"/> 工事なし <input type="checkbox"/> (5) <input type="checkbox"/> (5) <input type="checkbox"/> (6) <input checked="" type="checkbox"/> (6) <input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> K3 その他部材 <input type="checkbox"/> (1) <input type="checkbox"/> (1) <input type="checkbox"/> 特定性能 <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> その他性能 <input type="checkbox"/> (4) <input type="checkbox"/> (4) <input type="checkbox"/> 補助対象外 <input type="checkbox"/> (5) <input type="checkbox"/> (5) <input checked="" type="checkbox"/> 工事なし <input type="checkbox"/> (6) <input type="checkbox"/> (6) <input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> K3	外壁通気構造 140 m 外壁通気構造 30 m 内部結露が生じていないこと 防蟻・防蟻薬剤塗布	13,200 円/m <sup>2</sup> 6,600 円/m <sup>2</sup> 1,800 円/m <sup>2</sup>	1,848,000 198,000 91,530	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否				
b 土台 次の(1)、(2)のいずれかに適合 (1) 以下の①~③のいずれかに適合、かつ、水切り設置 ① K3相当以上(北海道、青森県ではK2以上) ② 樹種(D1)の樹種のうち、ヒノキ、ヒノ、ハヤシ、その他これらと同等の耐久性を有する製材又は集成材等 ( ) ③ ①~②と同等の措置 具体的な内容 ( ) (2) 以下の範囲で防蟻・防蟻処理(北海道、青森県を除く) + 維持保全の強化★ ・床下空間に露出している部分 ・増築又は改築の工事で露出する部分	<input type="checkbox"/> (1)① <input type="checkbox"/> (1)① <input checked="" type="checkbox"/> 特定性能 <input type="checkbox"/> (1)② <input type="checkbox"/> (1)② <input type="checkbox"/> その他性能 <input type="checkbox"/> (1)③ <input type="checkbox"/> (1)③ <input type="checkbox"/> 補助対象外 <input type="checkbox"/> (2) <input checked="" type="checkbox"/> (2) <input type="checkbox"/> 工事なし	防蟻・防蟻薬剤塗布*1 50.85 m <sup>2</sup> *1鉄骨造、RC造であっても床下に木部が存する場合、その他性能向上工事として適用可とする 床下空間部分 今回の工事で露出する部分(地盤からの高さ1m以内の部分)	1,800 円/m <sup>2</sup>	91,530	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否					

最終版の記載情報から変更がある場合は変更に関する手続きが必要か確認するため速やかに支援室までご連絡ください。詳しくはマニュアル「VI.交付申請額等の変更について」をご参照ください。

リフォーム工事完了後に建築士が現地確認等の上、最終版の記載情報のとおりリフォーム工事が行われているかチェックしてください。「工事なし」で申請している欄のチェックは不要です



事業タイプ	交付申請番号	年度	事業者番号						住宅番号		
評価基準型		0 3	-	2 8	X	X	X	X	-	0 0 1	

単価積上方式による補助対象工事費の算出表

性能項目別のリフォーム工事	住宅性能等 記入欄（建築士による確認）		工事費（自動計算）			工事完了時 建築士 チェック欄		
	補助対象となる性能向上リフォーム工事		補助工事単価	特定性能 計(a)	その他性能 計(b)		計(a+b)	
	工事の内容	数量	単位					
1. 構造躯体等の劣化対策				2,482,890	0	2,482,890		
2. 耐震性				1,100,150		1,100,150		
3. 省エネルギー対策				912,600	36,000	948,600		
4. 維持管理・更新の容易性								
インスペクション での指摘事項 への対応	外壁塗装	m					<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	外壁補修(外装材の張り替え)	m					<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	屋根塗装	m					<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	屋根補修	m					<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	防水工事(FRP防水程度) (シート防水、ウレタン、FRP防水のハブコートのみ等の場合、数量 に0.5を乗じる)	m	10				<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	コーキング打ち替え	m					<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	クラック補修	m	5.00	1,200	円/m	6,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	屋根張り替え(下地含む)	m <sup>2</sup>		10,500	円/m <sup>2</sup>	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	屋根張り替え(下地含まず)	m <sup>2</sup>		7,200	円/m <sup>2</sup>	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	雨樋交換	m		1,800	円/m	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	軒天・軒裏張り替え	m <sup>2</sup>		2,400	円/m <sup>2</sup>	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	不同沈下・腐朽蟻害の補修	式			円/式	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	高断熱浴槽設置 *1住戸1箇所のみ	箇所	1.00	180,000	円/箇所	180,000	180,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	節水型トイレ交換 *1住戸1箇所のみ	箇所	1.00	87,000	円/箇所	87,000	87,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	節湯水栓	箇所		18,000	円/箇所	0	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
上記以外の、 その他性能向上 リフォーム工事	手すり設置(I型手すり)	m		9,000	円/m	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	手すり設置(L型手すり)	本		16,500	円/本	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	手すり設置(階段手すり)	式		51,900	円/式	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	玄関から道路までの通路への手すり設置	m		9,000	円/m	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	床段差解消	箇所		29,100	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	ホームエレベーターの設置	箇所		2,700,000	円	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	屋外スロープ(玄関アプローチ)設置	箇所				0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	便所・浴室の床面積増加、間取り変更						<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	トイレの拡張工事	箇所	300				<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	ユニットバスの大型化	箇所	690				<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	洗浄を容易にする水栓器具の設置	箇所	18				<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	余った居室の用途変更						<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	便所の設置※3 ※3 大便器のあるもの。小便器のみは対象外	箇所	300				<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	サッシ交換	ガラス交換	大サイズ	箇所	60			<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
			中サイズ	箇所	36,000	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	内窓設置	大サイズ	箇所	79,800	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		中サイズ	箇所	48,900	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	カバー工法	大サイズ	箇所	90,000	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
		中サイズ	箇所	72,000	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	既存サッシ交換	大サイズ	箇所	150,000	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	(枠ごと交換)	中サイズ	箇所	108,000	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
	椅子や車椅子に座って使用できる調理台の設置	箇所		690,000	円/箇所	0	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否	
仮設足場の設置 (外壁)	特定性能向上工事の附帯	190.00	m <sup>2</sup>	900	円/m <sup>2</sup>	171,000	171,000	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	仮設足場を要する工事( )							
仮設足場の設置 (屋根)	特定性能向上工事の附帯	85.50	m <sup>2</sup>	900	円/m <sup>2</sup>	76,950	76,950	<input checked="" type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
	仮設足場を要する工事( )							
性能向上等リフォーム工事計(W)				5,091,590	309,000	5,400,590		
性能向上等リフォーム工事計(千円未満切捨て)(V)				5,091,000	309,000	5,400,000		

最終版の記載情報から変更がある場合は、変更後の数量を入力してください。  
変更に関する手続きについてマニュアル「VI.交付申請額等の変更について」をご参照ください。

リフォーム工事完了後に建築士が現地確認等の上、最終版の記載情報のとおりリフォーム工事が行われているかチェックをしてください。  
「工事なし」で申請している欄のチェックは不要です

変更がある場合、自動計算の結果が正しく反映されているか、必ず確認してください

変更がある場合、様式9に転記されているか、必ず確認してください

様式9のC3欄へ記入してください | 様式9のF3欄へ記入してください

完了実績報告書（様式9）記入例  
 <評価基準型・単価積上方式>

記載内容に変更がある場合は  
提出してください。

補助対象工事が含まれる契約のみ契約額を入力してください

変更契約があった場合は  
契約額を追加入力し、  
変更契約書と内訳書、  
変更後の図面等を提出  
してください

様式9

事業タイプ 評価基準型	交付申請番号	年度 03	事業者番号 - 2 8 X X X X X	住宅番号 - 0 0 1
----------------	--------	----------	--------------------------	-----------------

※交付申請番号は「交付申請番号入力シート」Jに入力してください。

交付申請額算出表（単価積上方式用）

※交付申請番号、様式8、8の2が未入力の場合は交付申請額が計算されません。

契約等の額（消費税抜） 単位：円

契約の種類	契約額（円）
①：工事請負契約（インスペクション等が含まれていても可）	6,500,000
②：①以外の契約	380,000
③：①②以外の契約	
④：①～③以外の契約	
⑤：①～④以外の契約	
⑥：①～⑤以外の契約	
⑦：①～⑥以外の契約	
契約額の合計	6,880,000

補助限度額ごとに活用する住戸数

事業タイプに応じて補助対象とする工事に該当する欄に  
住戸数を入力してください。

※加算の対象に該当する場合は、  
チェック(■)をしてください。→

事業タイプ	評価基準型 提案型	認定長期 優良住宅型 提案型	高度 省エネルギー型
性能向上のみ	1 戸 (1,000千円/戸) 加算がある場合 (1,500千円/戸)	戸 (2,000千円/戸) (2,500千円/戸)	戸 (2,500千円/戸) (3,000千円/戸)
三世代同居対応改修のみ*	戸 (500千円/戸)	戸 (500千円/戸)	戸 (500千円/戸)
性能向上 + 三世代同居対応改修	戸 (1,500千円/戸)	戸 (2,500千円/戸)	戸 (3,000千円/戸)
補助対象住戸数	1 戸		
補助限度額の合計		1,500 千円 A	0 千円 B
補助限度額の合計		1,500 千円 U	

\*インスペクション等の費用は、三世代同居対応改修の補助限度額500千円/戸とは別に、事業タイプに応じた性能向上の補助限度額の範囲で申請できます。

インスペクション等の費用（消費税抜）

補助対象とする場合は、該当する項目の補助対象額の欄に  
契約書等の金額を入力してください。

補助対象となる費用	発注者直接払い※1	契約額（円） ①	補助対象額の 上限(戸当たり)	補助対象額の 上限(2)	補助対象額 ①②の 何れか低い額
インスペクション費用★		30,000	150,000	150,000	30,000
リフォーム履歴 作成費用	リフォーム計画の作成費用	10,000	60,000	60,000	10,000
	建築士による適合確認費用★	55,000	60,000	60,000	55,000
	長期認定取得に要する費用		60,000	0	0
	BELS評価書取得に要する費用		30,000	0	0
	建築士による工事内容確認費用★☆		30,000	60,000	30,000
維持保全計画書作成費用		10,000	30,000	30,000	10,000
リフォーム瑕疵保険の保険料(検査料含む)		49,000	30,000	30,000	30,000
合計 (契約額のうち、インスペクション等の費用)		184,000			165,000

★建築士が行うものについては、知事登録されている建築士事務所  
に所属する者である場合に限り補助対象となります。  
☆交付申請時に適合確認を行った建築士と違う建築士が工事内容を  
確認する場合は完了実績報告時に 建築士事務所登録を確認します。

※1 これら費用等が契約に  
含まれず、発注者が直接  
支払う場合はチェック(■)  
してください。  
※2 買取再販業者が補助事  
業者の場合に限ります。

契約額から求める上限（消費税抜）

契約額に乗じる補助対象工事費率	0.80
(契約額の合計 - J1) / 1000 × 補助対象工事費率0.8 × 補助率(1/3)	R 1,785 千円

交付申請額の算出

項目	補助事業に要する経費 (千円)	申請額算定用小計 (千円)
特定性能向上リフォーム工事費	C3 (様式8、8より) 5,091	E2 = C3 × 1/3 1,697
他性能向上リフォーム工事費	F3 (様式8、8より) 309	F4 = F3 × 1/3 103
三世帯向け改修工事費 (小計)	I1 (様式8、8より) 934	I2 = I1 × 1/3 311
防災性の向上改修工事費 (小計)	O1 (様式8、8より) 0	O2 = O1 × 1/3 0
レジリエンス性の向上改修工事費 (小計)	V1 (様式8、8より) 0	2 = V1 × 1/3 0
インスペクション等に要する費用	J3 (単位変換 J2/1000) 165	J = J3 × 1/3 55
性能向上リフォーム工事 (合計)	K1 = C3 + F3 + I1 + J3 6,499	K2 = E2 + H2 + I2 + J 2,166
三世代同居改修工事	M3 (様式8、8より) 0	M2 = M3 × 1/3 0
合計	I = K1 + M3 6,499	

補助額上限の比較

単価による積み上げ	契約額から求める上限
P: [A]か[K2]の いずれか低い額 (千円) 1,500	
Q: [B]か[M2]の いずれか低い額 (千円) 0	
R1 = [P=Q]か[U] のいずれか低い額以下 (千円) 1,500	R2 =
交付申請額	S: [R1]か[R2]か[100000] のいずれか低い額(千円) 1,500

様式8から転記され  
ているか 必ず確認  
してください

補助対象事業費は  
増額するが、補助  
額を増額しない場  
合は、この欄は交  
付申請時の額を入  
力してください  
変更がある場合様  
式11の「補助金  
の精算額」欄に転  
記してください

1. 消費税等は除いた額を記入してください。  
 2. 千円未満は、切り捨て処理してください。  
 3. その他性能向上リフォーム工事の補助額 (H2) は特定性能向上リフォーム工事の補助額 (E2) を超えることはできません。  
 (注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。